

## 東海技術サロン

2009年度の東海技術サロンは終了いたしました。多くのご参加、ありがとうございました

化学技術に関連した興味深いテーマを取り上げて、講演会を開催するとともに、講演会終了後は、講師を囲んだ懇親会を実施しています。

参加をご希望される方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAX (052-204-1469)にて事務局までご提出ください。

PDF

2009年度案内 (申込)



### 2009年度 (第96回) 東海技術サロン

最前線で活躍する企業研究!

先端技術を支える画期的な発見は、どのようにして生まれてきたのでしょうか。自由な発想、社会的ニーズ、福祉への貢献、人材育成など産学官それぞれに異なった役割が求められています。今回は、一線でご活躍中の3名の講師をお招きし、最先端科学研究を支えてきた企業での研究について企画いたしました。アルツハイマー治療薬、最新乳化・分散微粒化装置、ナノ粒子分散装置の開発研究を例にその歴史的背景から開発成功に至るまで苦労話なども含めながらわかりやすく講演いただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

●日時：平成21年9月15日 (火) 14:00~18:10

●場所：今池ガスビル7階B会議室<詳細地図裏面参照>  
名古屋市千種区今池一丁目8-8 (TEL:052-732-3211)

●主催：財団法人中部科学技術センター  
東海化学工業会、社団法人化学工学会東海支部

☆☆☆プログラム☆☆☆

- 14:00 開会挨拶 東海化学工業会
- 14:10 講演Ⅰ「アルツハイマー薬の開発」  
京都大学大学院薬学研究科教授杉本八郎氏
- 15:10 休憩
- 15:20 講演Ⅱ「最新乳化・分散微粒化装置T.K.フィルミックス」  
プライミックス株式会社執行役員澁谷治男氏
- 16:05 休憩
- 16:15 講演Ⅲ「ナノ粒子分散装置の開発とアプリケーションについて」  
寿工業株式会社技師長院去貞氏
- 17:00 講演終了
- 17:10 交流会挨拶 財団法人中部科学技術センター
- 18:10 閉会

定員： 100名 (締切：9月8日 (火) 定員になり次第締切ます)

参加費： 講演会無料

交流会： 4,000円 (当日受付にて徴収)

申込、問合せ先：

〒460-0008名古屋市中央区栄2-17-22  
(財) 中部科学技術センター 担当：大澤  
FAX：052-204-1469  
TEL：052-231-3043

.....

東海技術サロン講演一覧 (～2008年度)

題目	講演者
「ホロニック・パス-科学技術発展の方向を考えるー」	野田三喜男氏 (愛教大)
「静岡県の地震対策300日アクションプログラム」	渡辺晃男氏 (静岡県防災局)
「食と健康・老化」	並木満夫氏 (名大名誉教授)
「味覚・嗅覚情報の定量化にせまるー吟醸酒を例として」	小林 猛氏 (名大院工)
「アメリカの企業風土ー日本と比較して」	飯久保祐一氏 (Great Lakes Chemical Corp.)
「誰でもできる発明・発見、とても易しい発明・発見」	宇田成徳氏 (広島県技術アドバイザー)
「人生の勤どころ」	松原敬生氏 (東海ラジオ)
「長寿を目指す健康支援ー新たな研究と戦略」	下方浩史氏 (国立長寿医療研)
「お茶の化学成分とその機能性」	富田 勲氏 (静岡産大)
「基礎からわかる光触媒のはなしー21世紀を拓く環境技術ー」	埴田博史氏 (産総研)
「らせん高分子のナノ構造制御の魅力」	岡本佳男氏 (名大院工)
「窒化物半導体の研究と青色発光デバイスの創出」	赤崎 勇氏 (名城大学)
「青色発光ダイオードの開発・実用化」	太田光一氏 (豊田合成)
「カーボン・ナノテクノロジーの現状と将来」	篠原久典氏 (名古屋大学)
「カーボンナノチューブのディスプレイデバイスへの実用化技術の研究開発」	上村佐四郎氏 (ノリタケ伊勢電子)
「携帯機器用燃料電池技術の現状と未来」	山口猛央氏 (東京大学大学院)
「自動車用燃料電池技術の現状と課題」	森本 友氏 ((株)豊田中央研究所)
「メイクアップ化粧品における粉体技術の応用」	鈴木高広氏 (ロレアル化粧品 (株))
「機能性食品の研究・開発-セサミンを中心にして-」	小野佳子氏 (サントリー (株))
「ナノ空間材料の自動車排ガスへの応用：H C T r a pとスス燃焼触媒」	大久保達也氏 (東京大学)
「エネルギーの大規模削減を可能とする規則性多孔体薄膜技術の展望」	松方正彦氏 (早稲田大学)